

文化小劇場で紡ぎ出す

名古屋の歴史2015

第1回～第4回

講演時間14:00～16:00

名古屋市域の原始・古代から現代に至る歴史を編さんした「新修名古屋市史」の編集・執筆に携わった歴史の専門家による特別講演会を開催します。この機会に名古屋の歴史にふれて見ませんか。

料金など

入場無料

要チケット

- ▶ 11月11日(水)から各会場窓口はじめ文化振興事業団各施設窓口でチケットを発券します。
- ▶ チケットがなくなり次第発券を終了します。
- ▶ チケットの残数につきましては、各会場へお電話にてお問い合わせください。
- ▶ 開場は各講演会開始の30分前です。
- ▶ ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

第1回 2015年12月15日(火)

〈俳諧〉〈芭蕉〉の流行 -名古屋の場合-

会場 西文化小劇場 [346席] 052-523-0080
地下鉄鶴舞線「浄心」下車 4番出口より南へ徒歩3分

講師 服部 直子 名古屋外国語大学非常勤講師

名古屋は、芭蕉初の行脚の地であることから「蕉風発祥の地」と称されている。しかし蕉風のみならず、名古屋は古来〈俳諧〉の盛んな地であった。上は殿様クラスから庶民まで、俳諧流行の実態の一端を紹介したい。

第2回 2015年12月22日(火)

『新修名古屋市史講演会』 一地方城下町から大都市名古屋への 飛躍から近代名古屋を考える

会場 千種文化小劇場 [251席] 052-745-6235
地下鉄桜通線「吹上」下車 7番出口より北へ徒歩3分

講師 高木 備太郎 愛知東邦大学非常勤講師

江戸時代の名古屋は、金沢・仙台・広島などと同程度の一地方城下町でした。それが昭和に入ると、東京・大阪・京都・横浜・神戸と並んで六大都市となり、人口も100万を超えます。他に例を見ないこの飛躍はいかになされたのか。この謎に多方面から迫ることによって、近代名古屋の特徴を考えます。

第3回 2016年1月19日(火)

尾張藩士は町人に借金を返済するか

会場 北文化小劇場 [297席] 052-910-3366
地下鉄名城線「黒川」下車 4番出口より北へ徒歩12分

講師 種田 祐司 元名古屋市博物館学芸員

江戸時代後期、多くの尾張藩士が名古屋城下の町人から借金をしていた。借金の担保は領地の年貢などであるが、きちんと返済されたのだろうか。城下有数の米問屋である川伊藤家の資料を分析して、武士の借金事情を探る。

第4回 2016年1月26日(火)

歴史遺産の宝庫名古屋城

会場 南文化小劇場 [394席] 052-823-6511
市バス(基幹1号系統、金山18号系統)「千電通2丁目」下車すぐ

講師 木村 有作 名古屋市教育委員会文化財保護室学芸員

金のシャチホコだけじゃない!城にかかわる櫓や門などの建造物や本丸御殿障壁画の一部が重要文化財に指定されているほか、名勝庭園や天然記念物など国指定の文化財が集中しています。石垣や埋蔵文化財など普段あまり気にすることのない「お宝」も併せて、名古屋城の魅力を紹介します。

スタンプラリー

講演会全8回のスタンプを集めていただいた方には、最終回の天白文化小劇場(3月1日)にて、**名古屋市文化振興事業団主催公演のチケットを進呈**します。スタンプラリーの台紙は、第1回の西文化小劇場(12月15日)にて配布します。

■主催 名古屋市市政資料館

公益財団法人
名古屋市文化振興事業団

■問合せ 各開催文化小劇場まで